

藤岡市地域コミュニティ活性化に係る市民アンケート調査結果

4月下旬に市民の方2,000人へアンケートを送付したところ、**786人**の方にご回答をいただきました。お忙しい中アンケートをご返信いただきまして、心より感謝申し上げます。その結果について、簡単ですがご報告させていただきます。

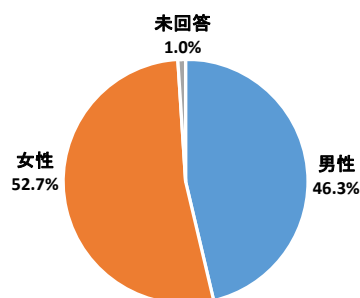
1.回答者の属性

◆ご自身のことをお尋ねします。

問1 あなたの性別を教えてください。

1. 男性 2. 女性 3. 答えたくない(未回答)

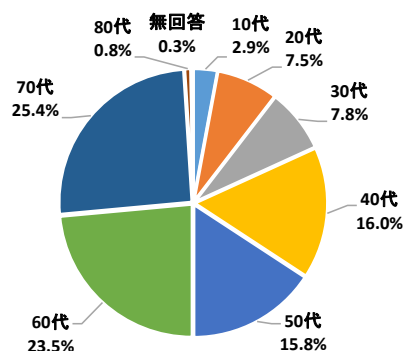
「女性」が52.7%、「男性」が46.3%と、女性の方が回答率がやや高い結果となりました。



問2 あなたの年齢を教えてください。

1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代
6. 60代 7. 70代 8. 80代以上

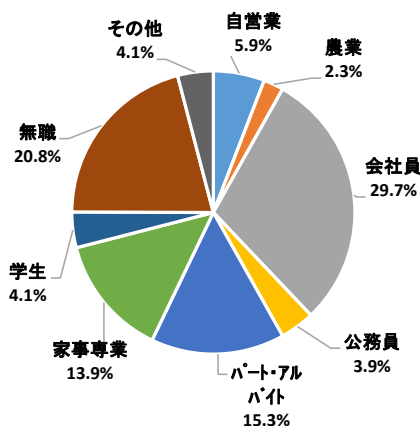
回答者の年代で一番多いのが「70代」の25.4%で、次いで「60代」の23.5%、「40代」の16.0%、「50代」の15.8%と40代以上が8割を占める結果となりました。特に60代以上の方々の関心の高さがうかがえます。



問3 あなたの職業を教えてください。

1. 自営業 2. 農業 3. 会社員 4. 公務員 5. パート・アルバイト
6. 家事専業 7. 学生 8. 無職 9. その他 ()

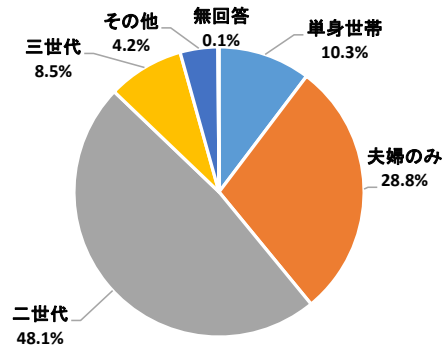
回答者の職業で一番多いのが「会社員」の29.7%で、次いで「無職」の20.8%、「パート・アルバイト」の15.3%、「家事専業」の13.9%と、幅広くご回答をいただきました。



問4 あなたの家族構成を教えてください。

1. 単身世帯 2. 夫婦のみ 3. 二世世代世帯（親と子）
4. 三世世代世帯（親と子と孫） 5. その他

回答者の家族構成は、「二世世代世帯（親と子）」が48.1%と約半分を占めており、次いで「夫婦のみ」が28.8%、「単身世帯」が10.3%、「三世世代世帯（親と子と孫）」が8.5%とご回答いただきました。



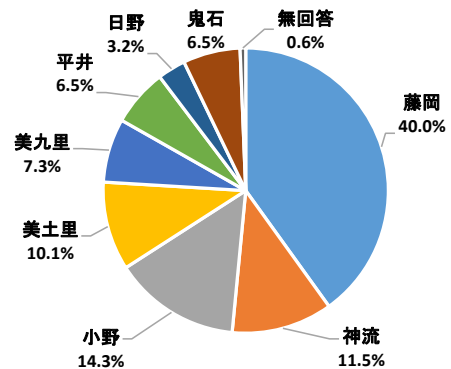
<参考>各地区1世帯あたりの平均人数（各地区の住民基本台帳人口を世帯数で除したもの）

藤岡	神流	小野	美土里	美九里	平井	日野	鬼石
2.32人	2.31人	2.42人	2.48人	2.43人	2.46人	2.07人	2.26人

問5 お住まいの地区を教えてください。

1. 藤岡地区 2. 神流地区 3. 小野地区 4. 美土里地区
5. 美九里地区 6. 平井地区 7. 日野地区 8. 鬼石地区

回答者の地区別比率は「藤岡地区」の40.0%が最も多く、市内の行政区別人口数（市ホームページに掲載）の比率よりも高い回答率となったのは、「藤岡地区」、「平井地区」、「日野地区」の3地区となりました。



<参考>行政区別人口比率

藤岡	神流	小野	美土里	美九里	平井	日野	鬼石
31.7%	13.5%	17.5%	13.1%	8.2%	6.2%	2.1%	7.7%

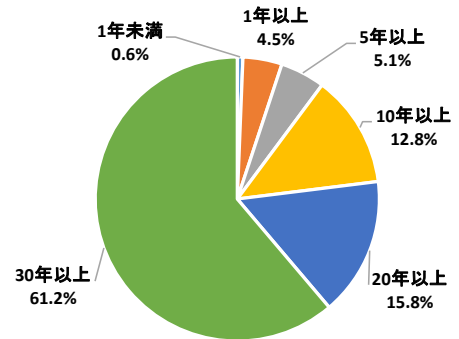
<参考>行政区別回答率（各行政区毎に回答数を配付数で除したもの）

藤岡	神流	小野	美土里	美九里	平井	日野	鬼石
51.3%	33.2%	32.9%	31.1%	32.2%	41.8%	47.2%	30.7%

問6 藤岡市に住んで何年になりますか？

1. 1年未満 2. 1年以上 3. 5年以上 4. 10年以上
5. 20年以上 6. 30年以上

藤岡市に住んでいる年数が「30年以上」の方が61.2%と回答の半数以上を占め、次いで「20年以上」が15.8%、「10年以上」が12.8%となりました。



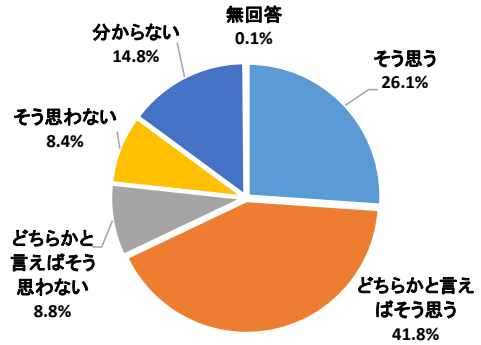
2.地域への関り

◆地域コミュニティへの関わりについてお尋ねします。

問7 あなたは、地域の人々の「つながり」や「まとまり」が薄れてきていると思いますか？

1. そう思う 2. どちらかと言えばそう思う 3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない 5. 分からない

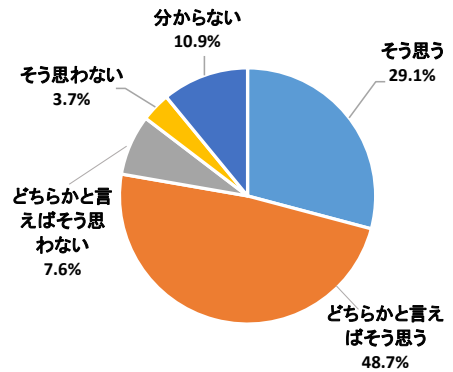
地域の人々のつながりやまとまりが薄れてきているかどうかについて、「どちらかと言えばそう思う」が41.8%と最も多く、「そう思う」の26.1%と合わせると7割近くの方が地域コミュニティの希薄化を感じている結果となりました。



問8 あなたは、地域の人々の「つながり」や「まとまり」は必要だと思いませんか？

1. そう思う 2. どちらかと言えばそう思う 3. どちらかと言えばそう思わない
4. そう思わない 5. 分からない

地域の人々のつながりやまとまりの必要性について、「どちらかと言えばそう思う」が48.7%、「そう思う」が29.1%と、8割近くの方が地域コミュニティのつながりやまとまりの必要性を感じていることが分かりました。



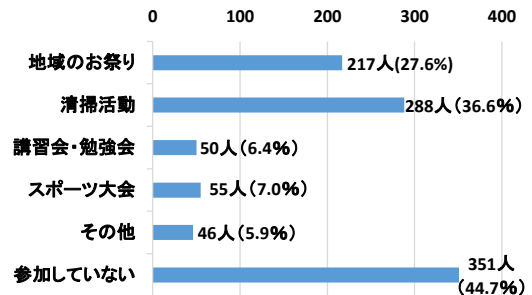
<参考>問7・問8回答の相関表

		問8 地域の人々の「つながり」や「まとまり」は必要だと思いませんか？					計
		そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない	分からない	
問7 が 薄 地 域 の 人 々 の 「 つ な が り 」 や 「 ま と ま り 」 が 薄 れ て き て い る と 思 い ま す か ？	そう思う	12.5 %	9.5 %	1.9 %	1.3 %	0.9 %	26.1 %
	どちらかと言えばそう思う	11.0 %	25.4 %	2.8 %	0.5 %	2.1 %	41.8 %
	どちらかと言えばそう思わない	1.7 %	5.7 %	1.4 %	0.0 %	0.0 %	8.8 %
	そう思わない	3.1 %	2.9 %	0.9 %	1.1 %	0.4 %	8.4 %
	分からない	0.8 %	5.1 %	0.6 %	0.8 %	7.5 %	14.8 %
	無回答	0.0 %	0.1 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.1 %
	計		29.1 %	48.7 %	7.6 %	3.7 %	10.9 %

問9 あなたは、どのような地域の行事に参加していますか？(複数回答可)

1. 地域のお祭り
2. 清掃活動
3. 講習会・勉強会
4. スポーツ大会
5. その他 ()
6. 参加していない

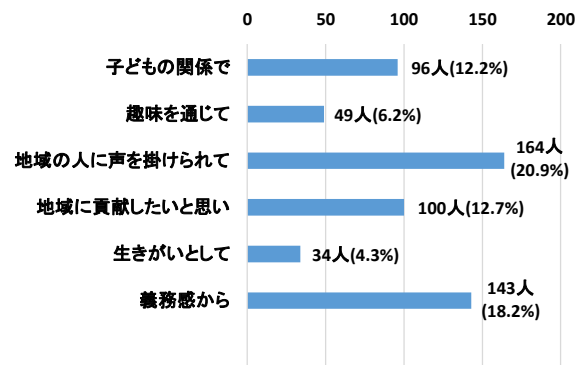
地域行事への参加について、「参加していない」が351人と最も多く、参加している人は「清掃活動」が288人、「地域のお祭り」が217人と道普請や地域のお祭りが多い事が分かります。「その他」については、育成会や地域団体（老人会や婦人会など）の行事、神楽や太鼓の練習、交通安全パトロールなどがありました。



問10 (参加している場合) 参加したきっかけは何ですか？(複数回答可)

1. 子どもの関係で
2. 趣味を通じて
3. 地域の人に声を掛けられて
4. 地域に貢献したいと思い
5. 生きがいとして
6. 義務感から

問9で参加している方について、きっかけは「地域の人に声を掛けられて」が164人で一番多く、次いで「義務感から」が143人、「地域に貢献したいと思い」が100人と、慣例的に参加している方もいることが分かりました。また、「子どもの関係で」が96人と、子どもを通じて地域行事に参加する方も多いことが分かります。

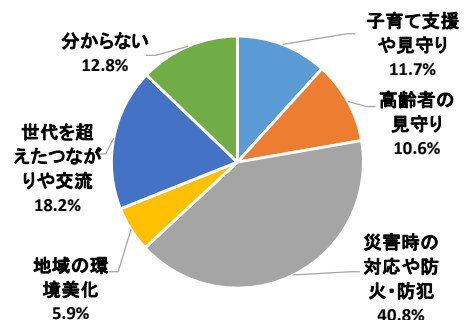


問11 あなたが地域コミュニティに必要な役割はどのようなことですか？

(特に必要と思うものを1つ)

1. 子育て支援や見守り
2. 高齢者の見守り
3. 災害時の対応や防火・防犯
4. 地域の環境美化
5. 世代を超えたつながりや交流
6. 分からない

地域コミュニティに必要な役割について、最も多かったのは「災害時の対応や防火・防犯」が40.8%と、全国的に災害が相次ぐ中で、地域防災を意識している方が多く見受けられます。次いで「世代を超えたつながりや交流」が18.2%と様々な世代の人が交流する機会を求める一方で、「分からない」が12.8%と特に地域コミュニティに役割を求めている(分からない)という意見もありました。「子育て支援や見守り」と「高齢者の見守り」は同程度に必要とされていることが分かります。



問12 どのような地域団体や地域活動があれば参加したいと思いますか？（自由記述）

【交流】

- ・気楽に参加できる催し・活動（文化祭、カフェ、日帰り旅行、食べ歩き、読書会 など）
- ・海外から来た人とコミュニケーションを取る活動
- ・自分の都合の良い時に参加できる活動、義務や強制のない気楽な集まり

【子ども・福祉】

- ・小中学生の登下校時の見守り
- ・貧困世帯の子どもへの食事や勉強などの支援
- ・乗り合い地域タクシー（病院などへの送迎）
- ・高齢者への声かけ

【地域防災】

地域ごとの防災訓練や説明会

【地域の歴史文化、勉強会】

- ・地域の歴史・民族の研究会、文化活動、勉強会
- ・スマホの取り扱いを学ぶ場

【環境美化】

- ・花や緑を増やす活動、環境美化

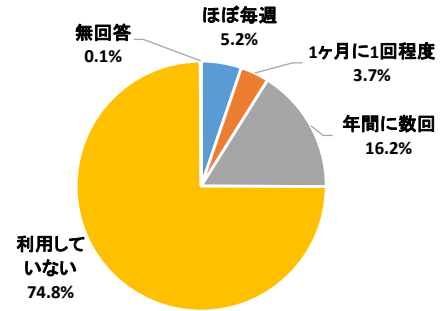
3.公民館の活用について

◆公民館の利用状況とあり方についてお尋ねします。

問13 あなたは、公民館をどれくらい利用していますか？

1. ほぼ毎週利用している
2. 1ヶ月に1回程度利用している
3. 年間に数回利用している
4. 利用していない

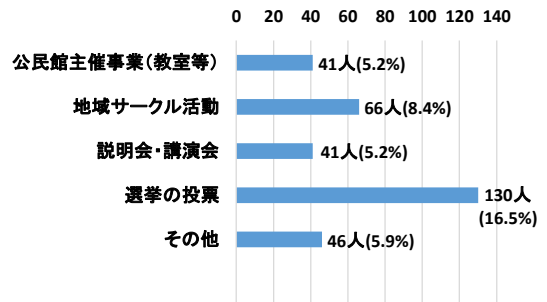
地域にある公民館の利用については、「利用していない」が74.8%と全体の4分の3を占め、次いで「年間に数回利用している」が16.2%、「ほぼ毎週」が5.2%と9割近くの方が公民館をほとんど利用していない状況が分かりました。利用している方と利用していない方の差が大きく出ていることが読み取れます。



問14 (公民館を利用している場合) どういった目的で利用していますか？(複数回答可)

1. 公民館主催の事業(教室等)に参加
2. 地域サークル活動
3. 説明会・講演会
4. 選挙の投票
5. その他 ()

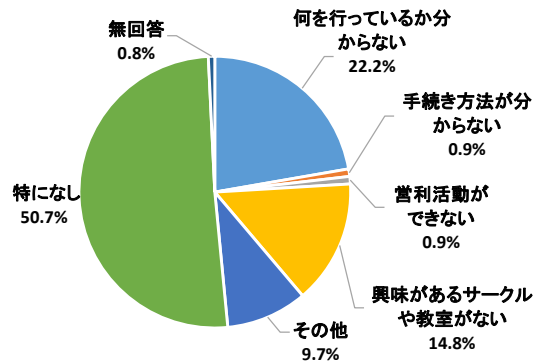
公民館を利用している目的について、「選挙の投票」が130人と最も多く、選挙の時だけ公民館を利用している方も見受けられました。次いで「サークル活動」が66人、「公民館主催事業(教室等)」と「説明会・講演会」がそれぞれ41人と、趣味の集まりや生涯学習活動の場として公民館が利用されていることが分かります。また、「その他」の意見としては、地域の集会や会議、子ども会や地域行事のイベント等で利用しているとの意見もあり、避難場所としてお世話になったとの回答もありました。



問15 あなたが公民館を利用していない、または、利用しづらいと思う理由は何ですか？

1. 公民館で何を行っているか分からない
2. 利用したいが手続き方法が分からない
3. 営利活動ができない
4. 興味があるサークルや教室がない
5. その他 ()
6. 特になし

利用していない方が多いこともあり「特になし」が50.7%と一番多く、次いで「何を行っているか分からない」が22.2%と、そもそも公民館で行われている活動内容を知らないという意見が多く見受けられました。また、「興味があるサークルや教室がない」が14.8%と、自分のニーズに合った活動がないと感じている方もいるようです。また、「その他」においては、「仕事で忙しく時間がない」ため利用していないという意見が最も多く、「興味はあるが教室の時間が合わない」や「交通手段がない」といった意見も見受けられました。

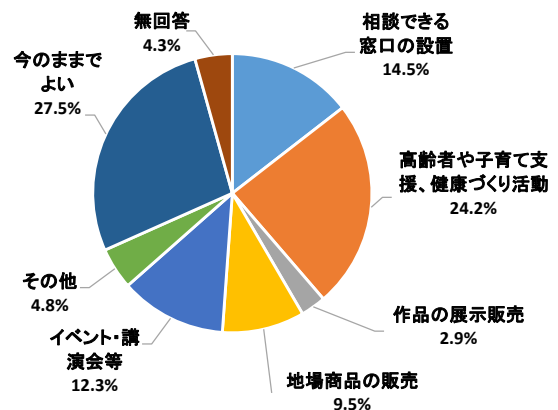


問16 これからの公民館において、実施した方がよいと思われることは何ですか？

1. 地域のことを気軽に相談できる窓口の設置
2. 高齢者や子育て支援、健康づくり活動
3. サークル活動などで作成した作品の展示販売
4. 市内商店やNPO等による地場商品の販売
5. イベント、講演会等の開催
6. その他 ()
7. 今のままでよい

「今のままでよい」と感じている方が27.5%と一番多く、次いで「高齢者や子育て支援、健康づくり活動」が24.2%と子どもやお年寄りに対する活動を望む方が多く、「相談できる窓口の設置」が14.5%と、公民館に地域の相談窓口としての役割も求められていることが分かりました。

「地場商品の販売」や「作品の展示販売」など営利活動を可能にする要望も少なからずあり、「その他」の中には「地域の防災訓練活動」や「幅広い年代が利用できるようにしてほしい」といった意見がありました。



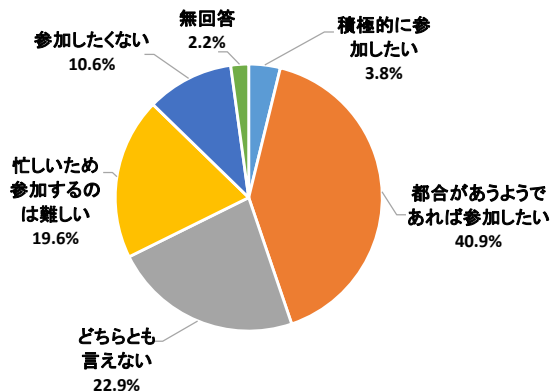
4.地域づくりについて

◆これからの地域づくりについてお尋ねします。

問17 あなたは、地域づくりの活動へ参加したいと思いますか？

1. 積極的に参加したい
2. 都合が合うようであれば参加したい
3. どちらとも言えない
4. 忙しいため参加するのは難しい
5. 参加したくない

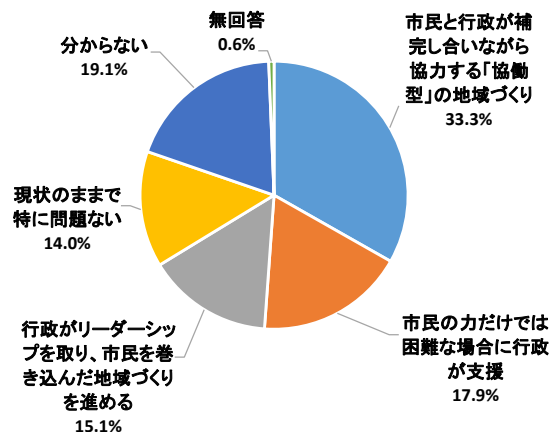
地域づくり活動への参加については、「都合が合うようであれば参加したい」が40.9%と最も多く、「積極的に参加したい」の3.8%と合わせると約半数近くの方が何らかの形で地域づくり活動へ参加したいと考えていることが分かりました。「どちらとも言えない」の22.9%の方については、地域の行事に参加しておらず、公民館を利用していない方が多い傾向がありました。



問18 あなたが理想とする「地域づくりのあり方」とは、どのようなものだと思いますか？

1. 市民と行政が地域の課題解決に向けて、補完し合いながら協力する「協働型」の地域づくり
2. 市民や地域団体が中心となって地域づくりを進めるが、市民の力だけでは困難な場合に行政が支援する
3. 行政がリーダーシップを取り、市民を巻き込みながら統一的な地域づくりを進めていく
4. 現状のままで特に問題ない
5. 分からない

理想とする地域づくりのあり方については、「市民と行政が補完し合いながら協力する『協働型』の地域づくり」が33.3%と最も多く、両者が力を合わせる協働型を望む声が多いことが分かりました。次いで「市民の力だけでは困難な場合に行政が支援」が17.9%と、市民が主役となった地域づくりを望む意見も多く、「行政がリーダーシップを取り市民を巻き込んだ地域づくりを進める」と「現状のままで特に問題ない」という回答は同程度の結果となりました。

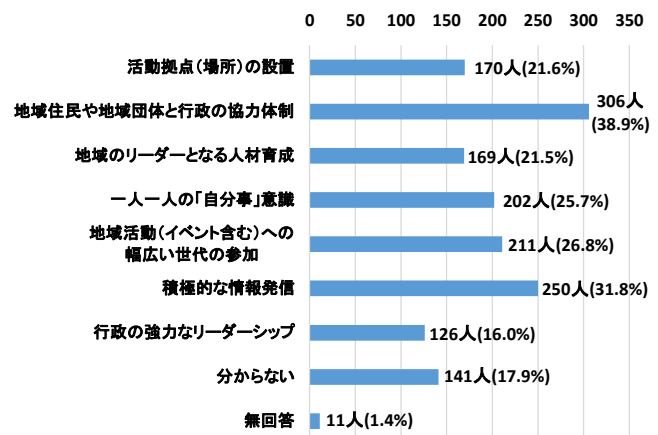


問19 地域づくりを活性化するためには、どのような取り組みが必要だと思いますか？（3つまで）

1. 活動拠点（場所）の設置
2. 地域住民や地域団体と行政の協力体制
3. 将来を見据えた地域のリーダーとなる人材育成
4. 地域住民一人一人の「自分事」意識
5. 地域活動（イベント含む）への幅広い世代の参加
6. 積極的な情報発信（SNS、ホームページ、地区回覧、広報、ポスター等）
7. 行政の強力なリーダーシップ
8. 分からない

地域づくりを活性化するために必要な取り組みとしては、「地域住民・地域団体・行政の協力体制」が306人と最も多く、次いで「積極的な情報発信」が250人と、活性化にはそもそも“どんな取り組みをしているのか”を皆が知ることが必要だと考える人が多く見受けられました。

また、「地域活動への幅広い世代の参加」と世代間交流をを求める意見や、「一人一人の『自分事』意識」と個人の意識が重要だと考えている方も多いようです。



問20 「地域づくりの活性化」について、ご意見・ご要望があれば、ご記入ください。（自由記述）

- ・スマホアプリ、SNSを活用し、情報発信を強化
- ・イベントが少なくなってきたので増やして欲しい
- ・活性化には子どもが必要。子どもが活動できるイベントや公園などの充実が必要
- ・子ども会に所属していない年代は、近隣との関りが薄い
- ・地域の世代間コミュニケーションが必要
- ・その地域に特徴的な、住民参加型の取組みがあれば良い
- ・公民館の講習がマンネリ化しているので、時代に合ったプログラムの検討を
- ・気楽に立ち寄れる魅力的な公民館があると良い
- ・若者にも問題意識を持ってもらうことが必要
- ・自分達の住んでいる地域は、自分達が積極的につくらなければ活性化にならない
- ・それまで消極的だった地域の活動も、参加してみるとやって良かったと思う
- ・地域づくりをしている人・団体を後方支援すれば良い
- ・行政はサポート役のみで、地域のリーダー格と参加する側の意識が重要
- ・特定の人だけに任せない
- ・年配の方が多い地区は、若者の意見を取り入れてもらえない
- ・地域づくりに参加したいが、何をしたら良いか分からない
- ・地域活動に参加できる余裕のない人に無理やり参加させるのは不可能。やりたい人、出来る人が参加すればよい。生活リズムを崩されたくない
- ・行政のリーダーシップは必要ないが、前例がないということで民間のやりたいことを止めないで欲しい
- ・地域住民、地域団体、行政が枠を超えて話し合いを。お互いの意識の乖離をなくす
- ・一部の人達が公費を使うような自己満足なものではなく、地域に本当に必要なことをやって欲しい
- ・地域に愛着を持たせるためには、文化遺産の研究や取り組みが必要
- ・幼少期にしっかり教育しておく、しっかりした人になる。子育て支援の充実を
- ・プライバシーの問題や強制を嫌がる世代であっても、子どものことや防災の取組みは参加しやすい
- ・重要なのは「ビジョンの提示」または「合意形成」で、「どんな人の住む、どのようなまちにしたいか」を示す

◇お忙しいところ、アンケートにご協力いただきまして誠にありがとうございました。

これから進める藤岡市の地域づくりにおいて、参考にさせていただきたいと思っております。